# バーチャルマシン内の 盗聴プログラムの安全な検知

九州工業大学 情報工学部 情報・通信工学科 光来研究室

### 研究の目標

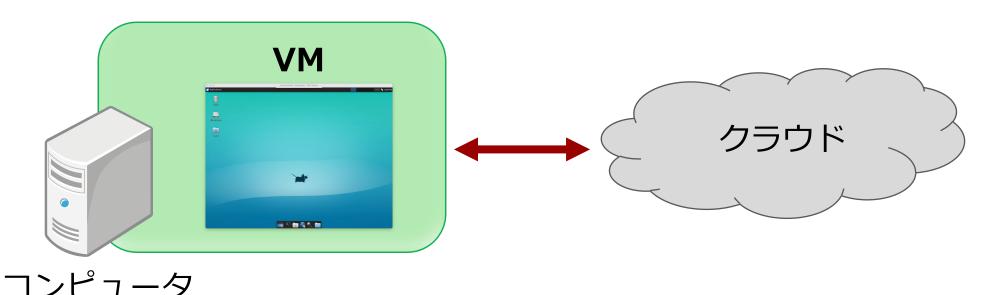
- ■バーチャルマシンを使って安全安心な情報システムを作る
  - ■セキュリティの高いシステム
  - ■信頼性の高いシステム
  - ■従来の制限をとりはらったシステム





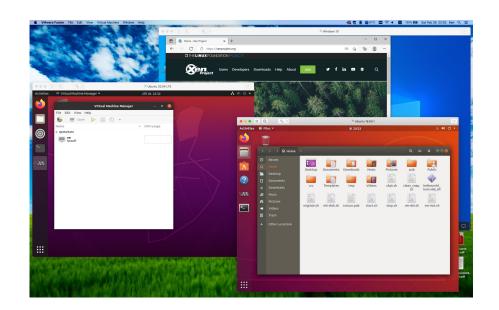
# バーチャルマシン (VM) とは?

- ■コンピュータの中に作り出される**仮想的な**コンピュータ
  - ■ソフトウェア(プログラム)で作られている
- ■近年の情報システムの多くで使われている
  - ■例:クラウドコンピューティング



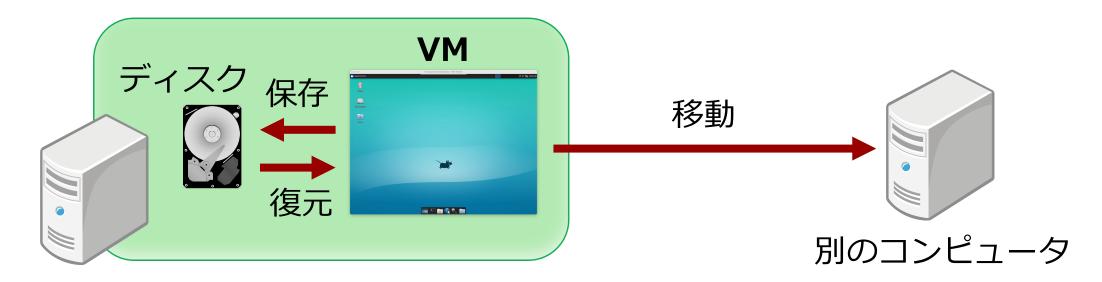
## バーチャルマシンの特徴 (1)

- ■必要な時にすぐに作ることができる
  - ■パソコンのように買ってくる必要がない
- ■1台のコンピュータの中で多くのVMを動かせる
  - ■コンピュータの余っている能力を最大限に活かせる



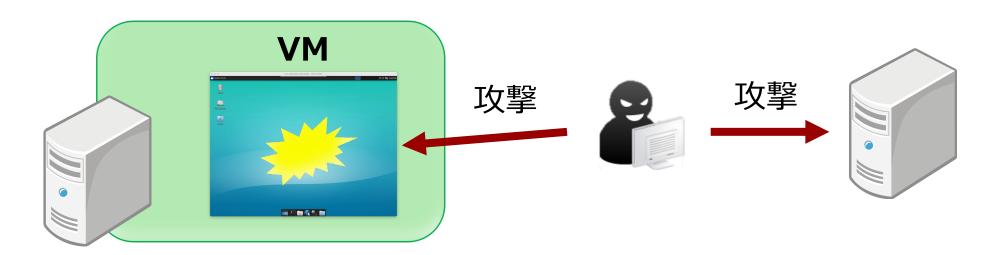
# バーチャルマシンの特徴 (2)

- ■簡単にVM丸ごとのバックアップを取れる
  - ■必要に応じてその時の状態に瞬時に戻すことができる
- ■通信ネットワークを使ってデータとして転送できる
  - ■別のコンピュータに**瞬間的に**移動させることができる



## バーチャルマシンへの攻撃

- ■通常とコンピュータと同じく攻撃を受ける恐れがある
  - ■VMは通常のコンピュータそっくりに作られているため
  - ■同じOS(Windowsなど)、同じアプリが動作する
- ■動いているソフトウェアの不具合を狙われる



## 攻擊例

- ■VM内に侵入され、不正アクセスを行われる
  - ■個人情報の盗聴、データの改ざん・削除
- ■VMを遠隔操作され、他のVMへの攻撃に使われる
  - ■不正アクセスの中継点として悪用

# 

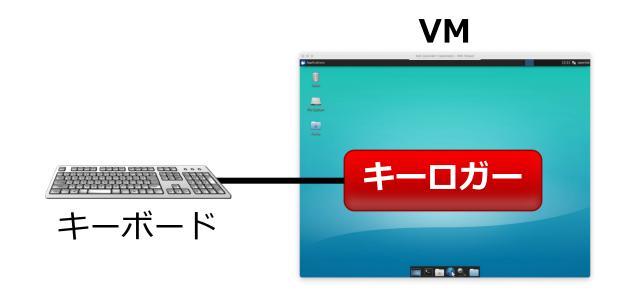


### 事例紹介:キーロガー検知システム

- ■VM内に仕掛けられたキーロガーを安全に検知
  - ■アメリカのニューヨーク市立大学と共同で研究
- ■キーロガーとは?
  - ■利用者のキーボード入力を**盗聴**する不正プログラム

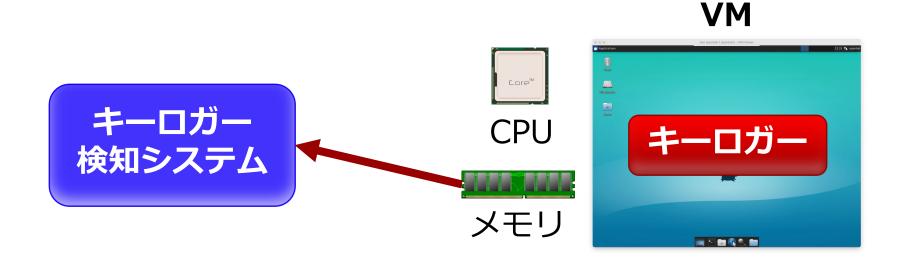


ニューヨーク市立大学にて



### VM内の情報の解析

- ■キーロガー検知システムをVMの外部で安全に動かす
  - ■VM内の不正プログラムからの攻撃を防ぐ
- ■VMのメモリをのぞき見てVM内部の情報を取得
  - ■例:ファイル等を読み書きしたデータ量



### 人工免疫システムを用いた検知

- ■人間の免疫システムがウイルスを発見する仕組みを応用
  - ■自己を学習することで非自己を検知
- ■事前にVM内のプログラムの正常な挙動を学習
  - ■キーロガーに特有の異常な挙動をしているプログラムを発見

